

原発推進 国民民主に巨額献金

石破茂首相に原発新增設を含めた活用を促す要望書を提出するなど原発推進の立場を鮮明にしている国民民主党。その背景に電力会社の労働組合である電力総連（全国電力関連産業労働組合総連合）との関係がありま

す。電力総連は、参院選比例代表選出の2人の「組織内議員」を抱えていま

す。東京電力労働組合中

央執行委員長、電力総連

副会長などを歴任し、2

022年の参院選で初当

選した竹詰仁氏、関西電

力労働組合書記長、電力

総連会長代理などを歴任

し13年参院選で初当選、

19年に再選した浜野喜史

氏です。

電力総連の政治団体で

ある「電力総連政治活動

委員会」の政治資金収支

電力労組の政治団体

報告書（21〜23年）によ

ると、竹詰氏は、参院選

を翌年に控えた21年に5

000万円、選挙のあつ

た22年に陣中見舞い10

00万円を含む計6000

0万円、23年は10000

万円を受け取っていま

す。

玉木雄一郎代表とともに

に石破首相に原発推進を

申し入れた浜野氏は、22

年に50万円、23年には2

000万円。電力総連は

今年9月の定時大会で、

来年夏の参院選で3選め

ざす浜野氏の「必勝決

議」をあげています。

このほか、玉木氏は

「政経セミナー」などの

会費名目で22年に計25万

円、2日の衆院本会議代

表質問で、政府の次期エ

ネルギー基本計画に「原

発の建て替えや新增設を

明記すべきだ」と迫った

浅野哲青年局長（衆院茨

城5区）は、23年に「育

てる会」会費名目で10万

円を受け取っています。